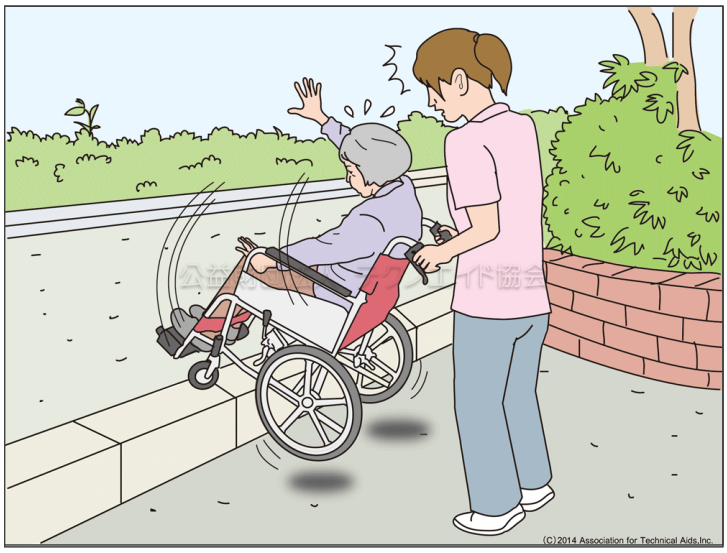
福祉用具ヒヤリハット　研修教材（講師用）

Case：299

キャスターを持ち上げて段差をあがろうとしたら、車いすが横にずれ転倒しそうになる

場面の説明

段差をあがろうとティッピングレバーを操作しキャスターを段上に上げたのち、ハンドルを持ち上げた。段差には左右方向の傾斜があった



利用シーン	移動 外出
主な利用場所	段差・縁石
介護保険の種目	車いす
分類コード(CCTA95)	122103 (介助用車いす)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

大車輪が段差の角（段鼻）に当たっていないまま持ち上げる誤った方法で段差昇降を行うと、車いすの動きが不安定になります。特に段上に傾斜がある場合、大車輪を持ち上げてしまうと低い方向へ流れます。大車輪を段差の角にしっかりと当て、車いすを持ち上げず前方に押し出す正しい操作方法の習得が大切です。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：正しい操作方法を習得できていなかった
環境：段差上に傾斜があった
環境：正しい操作方法を教えてくれる人がいなかった

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.